

ご担当者様

# 梓書院の戦後70年関連本



## 桜、ななたび

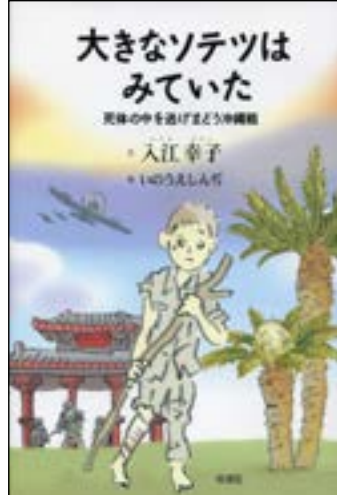
鹿屋海軍特攻基地  
—わだつみのふるさと—

「平均年齢わずか二十一歳」

太平洋戦争末期、鹿屋特攻基地から飛び立った特攻隊員は、八百二十九名にもおよぶ。

彼らは自らの明日を夢見ることなく、平和な日本を夢見てその身を散らした。花びらのように儂い人生ではあったが、それは今も私たちの胸に深く刻まれている。

高橋みゆき 著  
本体 1,429 円 + 税  
978-4-87035-446-3  
四六判、並製、248 頁  
2012 年 5 月 10 日発行



## 大きなソテツはみていた

死体の中を逃げまどう沖縄戦

入江幸子

いのうえしんぢ

入江幸子 著・いのうえしんぢ 画  
本体 1,238 円 + 税  
978-4-87035-457-9  
A5 判、並製、96 頁  
2012 年 6 月 23 日発行



## 大きなソテツはみていた

「戦争の真実を話し始めます」

ソテツの寿命は 7,80 年です。そんな長生きのソテツは、沖縄戦も見てきました。

食べ物がなく、苦しんでいた沖縄の人達にソテツの赤い実をあげ、はげましてきました。

でも、戦争はひどくなるばかり… おじいちゃんになったソテツの木は子どものソテツや小さな花たちに、昔のことを話し始めます。



## 焦土へ帰りゆく人々

「今のうちに言い残しておくべきこともある」

敗戦直後、大陸・半島を脱し、故国へと引揚げて来る人の群れ。その傷心と苦難。そうした人々を、おのれの人生を賭して、救おうとする人たちの姿を描く。

1945 年 6 月 19 日の福岡大空襲のありさまをも伝える。

忘れてはならないドラマを、実話をもとに再現する！

観世広 著  
本体 1,429 円 + 税  
978-4-87035-295-7  
四六判、並製、332 頁  
2007 年 6 月 10 日発行



## 宇佐海軍航空隊史

「戦後 70 年という節目の年に」

搭乗員養成のために開隊された宇佐海軍航空隊 (通称: 宇佐空) は、日本が太平洋戦争に突入していくなかで、次第に特攻隊基地へと変わっていく…。

故郷である宇佐の戦争を知り、平和に思いを寄せるきっかけになることを願っています。

宇佐市長 是永修治

大分県宇佐市 編・瀬井恵介 画  
本体 762 円 + 税  
978-4-87035-547-7  
四六判、並製、162 頁  
2015 年 3 月 31 日



貴社番線印	日付	書籍名
		戦後 70 年関連本
	ご担当	
	様	

梓書院の Facebook はコチラから →



株式会社梓書院 TEL : 092-643-7075  
〒 812-0044 福岡市博多区千代 3-2-1 麻生ハウス 3 階

【FAX : 092-643-7095】